

浜学園								
学習内容								
家庭学習 ポイント	No.41 図形の移動(2) No.42 場合の数(1) No.43 場合の数(2)							
	No.41『図形の移動（2）』では、回転移動や転がり移動の仕方を学習します。回転、転がり移動とともに、図形が動いた軌跡を図に書き込んで「見える化」することが最重要ですね。また問題の図に書き込むだけでなく、自分でも図を書き起こす練習をじゅうぶんにしておきましょう。No.42『場合の数（1）』では、おもに調べ上げによる場合の数の考え方を学習します。書き出しを使って考えるときには小さいもの順に並べていくなど、丁寧に取り組みましょう。いけないのは、脈絡なく数えてしまうことです。このような数え方をしていると、数え洩らしや二重数えなどのミスの原因になります。No.43『場合の数（2）』は、に計算による場合の数の考え方を学習します。計算を使って考えるときには、まずは和の法則か積の法則か、きっちり区別する習慣をつけることが大切です。コンビネーション（C）の記号は本来高校で学習する記号です。とはいっても式の表記が便利ですので、使いこなせるようにしておきましょう。以上で5年生の学習は終了になります。							
課題の把握 と解決 策	チェック1 解決策 チェック2 解決策 チェック3 解決策 チェック4 解決策 チェック5 解決策	図形の移動では、図形が動いた軌跡を図に書き込んで「見える化」していますか? 自分で図を書き起こす練習をじゅうぶんにしておきましょう 場合の数の数え出しでは、自分なりに「数え方のきまり」を持っていますか? A・B・C・Dから2つ選ぶ場合、1つを固定して「AとB、AとC、AとC...」と数えるなど 場合の数において「選ぶ」と「並べる」の違いを意識していますか? 「選ぶ」場合は順序は問わないので注意が必要ですね 場合の数において「コンビネーション」を使っていますか? 高校数学で使う記号ですが、中学受験の算数でもよく使う考え方ですね 冬休みに力を入れて学習したかった分野は解決しましたか? やり残しがある場合は1月中に解決しておきたいですね						
浜学園								
学習内容								
家庭学習 ポイント	総合問題① 総合問題②							
	「完全学習」の読解は総合問題が2回です。物語文・隨筆文・説明文といった今まで学習してきた読解の単元の総合問題となります。「合格達成への礎」でも総合問題が2回です。今月が5年生の最後の単元となりますので、6年生での学習に向けて、足りていない学習内容や苦手な分野を分析しておきましょう。「合格達成への礎」の説明文では自然を題材にした文章が問題文となっています。難しい用語が多く使われていますが、同じ分野の問題文は共通の用語が使われることが多いので、出来る限り、言葉の意味や使われ方を覚えるようにしましょう。もうすぐ受験学年になります。これまでの学習サイクルを確認してみましょう。6年生からは家庭学習だけでなく、塾の授業の受け方がより一層大切になります。事前に少しでも予習内容を確認して、授業では焦点を置いて要領よく学習出来なければなりません。お子様が塾から帰って来た時に確認してみて下さい。テキストを開いて、先生が話した内容だけでなく、映像として正確に思い出せることが大切です。授業全体を瞬時に捉え直し、その中の知識やポイントを覚え直しましょう。							
課題の把握 と解決 策	問題を考える時間はあるが記述を書けないといった状況になっていませんか? どのように答えを導き出そうとしているのかという読解手順に意識を向けるようにしましょう 説明文・論説文の読解では、逆説の接続語に注目していますか? まずは一般的なことを説明し「しかし」などの後に筆者の考えが述べられることはよくありますね 説明文・論説文の読解では、筆者の考えと事実を読み分けていますか? 「つまり」「要するに」などの後には筆者の考えが述べられます 物語文の読解では、場面の変化から登場人物の心情を読み取っていますか? 物語文の代表的な読解法ですね。「映像化」なども思い出し、実践していきましょう 語彙を増やす努力をコツコツと続けていますか? 6年生になっても同じです。丸暗記ではなく「使われるシチュエーション」を意識しましょう							

浜学園	5年							
	理科							
学習内容	抵抗と電流・スイッチ回路 電流による磁気作用							
家庭学習 ポイント	今月は電流による磁気作用について学習します。内容として、磁石の性質、電流の磁気作用、電流の変化と方位磁針のふれ方について学習を深めます。電流による磁気作用では、サンドイッチ法を使いこなすことが大切です。サンドイッチ法を使う注意点として、必ず、「右手で、導線をはさむ」ということを意識しておくことが大切です。電流と磁気作用の単元は、覚えることは少ないですが、きちんと右手のサンドイッチ法を使いこなすことが大切になります。右手のひらと方位磁針で、「導線をはさむ」ということに注意し、方位磁針のN S方向（南北方向）と導線が同じ南北方向を向いている時に限り、サンドイッチ法を使うことが可能という2点に注意して問題に取り組んでいくことが重要です。また導線の上や下に置いた方位磁針の振れの大きさは、流れる電流の大きさによってかわります。つまり理解を深めるには「スイッチ回路」などの深い理解が必須となります。電磁石の極の向きについては、サンドイッチ法同様に右手で確かめられますが、電磁石の強さの要因の1つである電流の大きさは、電気回路の知識と理解がベースとなります。確認しながら学習を進めていきましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	「サンドイッチ法」を使いこなしていますか？	チェック					
	解決策	必ず右手で確認しましょう（テストでは思わず左手を使ってしまうお子さんがいます）	<input type="checkbox"/>					
	チェック2	電磁石の極の向きを正しく理解していますか？	チェック					
	解決策	こちらもやはり、右手を使って確かめられますね	<input type="checkbox"/>					
	チェック3	電気回路の電圧・電流・電気抵抗の関係を正しく理解していますか？	チェック					
	解決策	電流の磁気作用の単元でも、この理解のベースがないと深い理解は進みません	<input type="checkbox"/>					
	チェック4	電磁石を強くする方法を正しく説明できますか？	チェック					
	解決策	「電流の大きさを大きくする・鉄心を入れる・コイルの巻き数を増やす」ですね	<input type="checkbox"/>					
	チェック5	冬休みに力を入れて学習したかった分野は解決しましたか？	チェック					
	解決策	やり残しがある場合は1月中に解決しておきたいですね	<input type="checkbox"/>					
浜学園	5年							
	社会							
学習内容								
家庭学習 ポイント								
課題の把握と解決策			チェック					
			<input type="checkbox"/>					
			チェック					
			<input type="checkbox"/>					
			チェック					
			<input type="checkbox"/>					
			チェック					
			<input type="checkbox"/>					
			チェック					
			<input type="checkbox"/>					